木造軸組工法

検査チェックシート

	丹澤邸 新築工事		
建築主	丹澤 幸博 様	建設地	笛吹市八代町増利字屋敷ノ内1911番1

モジュール: 尺 / m

区 分	基 礎 ② 検 査	
	初回検査	再検査
検査年月日	2019年 8月 1日	年 月 日
監理者	飯沼 直己	

基 礎 ②

	適用		確認	メ モ
コンクリート工事		設計基準強度Fc=21N/mm2(標準)		
		コンクリート呼び強度 (生コンクリート発注強度) スランプ18cm		

予想平均(月)	呼び強度(N/mm2)	コンクリート打設月(工事課別) 甲府周辺地域
25°Cを超える	27	8
8°C以上	24	9, 10, 11
		4, 5, 6, 7
0°C以上	27	12, 1, 2、3

型枠の存置期間 ※解体は下記期間の翌日以降とする

存置期間中の平均気温(月)	存置日数(日) 普通(N) ポルトランドセメント	早強(H) ポルトランドセメント	コンクリート打設月 甲府周辺地域
15°C以上	3日	2日	5, 6, 7, 8, 9, 10
15°C未満	5日	3日	3, 4
			11
5°C未満	8日	5日	12、1, 2

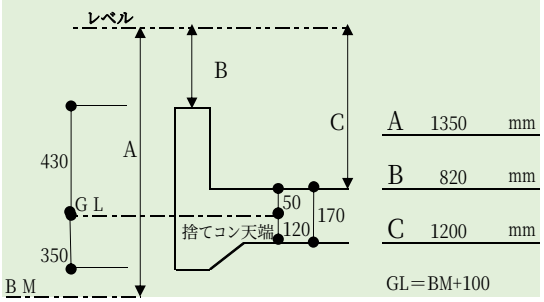
立上り型枠解体日 8/1 存置期間 5日間(解体日除く) 7/26打設
深基礎立上り型枠解体日 / 存置期間 日間(解体日除く) / 打設
保護壁立上り型枠解体日 / 存置期間 日間(解体日除く) / 打設

			確認	メ モ
コンクリート工事		基礎天端高さ	レ	
		耐圧盤の高さ	レ	
		基礎天端の水平精度 [3mm以下]	レ	
		対角長の計測 [計算値との差 (許容値) 10mm以内]	レ	
		立上り高さ (GL+430)、耐圧盤 (GL+50)	レ	
		立上り巾 (150mm)	レ	
		基礎の通り[ずれ10mm以下]	レ	
		型枠継ぎ手の目違い	レ	
		べた基礎ベースと立上り部分の目違い	レ	
		表面の仕上り (じゃんか、空洞、亀裂)	レ	
		基礎開口部の開口幅	レ	
		水抜きパイプ	／	
アンカーボルト		アンカーボルトの仕様	レ	
		アンカーボルトの首の出寸法 (120mm)	レ	
		アンカーボルトの位置、数量	レ	
		アンカーボルトの被り厚 (40mm以上)、位置のずれ	レ	
		アンカーボルトの傾き (2mm以下)	レ	
		16Mアンカーボルトの仕様	レ	
		16Mアンカーボルトの位置、出寸法	レ	

(続)基 礎 ②

	適用	チェック内容	確認	メ モ
土間工事		玄関ポーチ土間コンの寸法、		後日
		玄関ドア開口巾、開口脇の欠込み確認	レ	
		テラス土間コン、温水器置き場土間コン		後日
配管工事		給水、給湯、排水管の位置 (排水管立上げ) ﾍｯﾀﾞｰ位置		後日
		基礎内の給湯水、排水配管の固定 ﾌﾛｱﾊﾞﾝﾄﾞ@1.5m		〃
		給水、給湯、排水管の小口養生		〃
		スリーブ、さや管廻りの穴埋め (コーキング)		〃
		外周 排水桝の位置		〃
現場管理		写真・書類の提出(生コン伝票)		〃
		埋め戻し・整地		〃
		基礎内の雨水溜まり (有・無)、清掃状況		〃
		板セパの除去・防錆処理(捨てコン部及び高耐食溶融メッキ鋼板を除		〃
		残材の片付け、ゴミの処分		〃
		道路側溝の清掃		〃

【標準仕様】



指示事項及び是正状況確認

1	合格	玄関ポーチ土間コンは8/3に確認		
2		配管未施工のため後日写真を提出すること		
3		現場管理については後日書類を提出すること		

計測記録	合格	耐圧版天端レベル		
		耐圧版天端レベルは厚くなる方向に0～10mm		
	合格	立上り天端レベル		
		立上り天端レベルは基準値より低くなる方向に0～3mm		
		耐圧路盤平均値が計算値より7mm低かったので3mm低くても		
		平均値として設計立上り高さ550mmは確保できるため合格と判断		
	合格	全長長さ		
		X方向Y1通り誤差+10mm Y9通り誤差+5mm ≦基準値±10mm		
		Y方向X1通り誤差+5mm X15.5通り誤差+2mm ≦基準値±10mm		
	合格	対角長		
		A-B方向 15,065 (+7mm) ≦基準値 計算値15,058±10mm		
		C-D方向 15,057 (-1mm) ≦基準値 計算値15,058±10mm		

飯沼建築設計事務所